

I 宮古市中心市街地拠点施設の管理運営について

1 市民交流センター（仮称）の利用の流れ

施設の利用方法については、以下を基本とし、施設の空き室がある場合は前日まで随時受付を行います。

今後、利用想定団体やグループの皆さんからのご意見を伺いながら、供用開始後の施設の利用予約に対応するよう、6月（予定）から、ホームページを開設し仮運用を始める予定です。（施設利用申し込みは9月からを予定）

(1) 基本予約

宮古市民交流センター（仮称）利用イメージ（検討中）



2 市民交流センター（仮称）の事業について

市民交流センター（仮称）の運営に関しては、これまで、開館日、利用時間、使用料など検討協議を重ね、概ねの方向性が見えてきています。

平常時は、基本計画で示した下記の機能の実現を目指しますが、施設の利用促進や中心市街地の賑わい創出を図るため、オープン記念イベントをはじめとした企画を市民と共に開催します。

（１）平常時の機能

（以下「宮古市中心市街地拠点施設整備事業基本計画書」から抜粋）

【平常時】

① 災害伝承機能

- ・ 東日本大震災の経験を伝え、防災教育・防災学習の機能を整備します。
- ・ 施設には、自然災害や防災に関する展示のほか、本市における東日本大震災などに関する資料の収集や情報提供など、災害・防災に対する意識を高める機能を計画します。

② 市民活動・交流支援機能

- ・ 全ての市民を対象に、様々なニーズに対応した活動支援機能を設けます。また、「憩いの場」として気軽に訪れ、快適に過ごすことができる交流・多目的スペースを設け、まちの賑わいや活性化につながるサービスを提供します。

③ 情報提供・発信機能

- ・ 市民活動や行政サービス、各種団体などの様々な情報を発信し、交流の促進を促す施設を計画します。また、観光などの地域資源をはじめとする「まちの魅力」を発信し、市民が「みやこ」を知る機会の充実を図り、本市を訪れる様々な人々にまちの魅力をアピールします。

(2)検討中の企画事業

番号	催事名	内 容	備 考
1	オープン記念イベント	1 物販コーナー 交流都市、福祉団体 2 アトラクション 太鼓演奏、演歌(地元演歌歌手)、ダンス(地元ヒップホップダンスチーム)、書道ガール(地元高校生) 3 体験メニュー 防災ワークショップ「手作り防災グッズを作ろう」、茶道体験、ヨガ体験、絵本のお話し会 4 その他 映画鑑賞会のほか、下記2のシンポジウム、防災企画展を同時開催	
2	みやこ・未来創造・シンポジウム	1 防災・減災のまちづくりシンポジウム テーマ:東日本大震災を振り返って～災害に強いまちづくりを考える(仮) 内 容:①基調講演 ②パネルディスカッション 2 市民協働のまちづくりシンポジウム テーマ:東日本大震災における市民活動を振り返って、～市民協働のまちづくりを考える(仮) 内 容:①事例発表 ②パネルディスカッション 3 東日本大震災からの復興の歩みを伝える展示 テーマ:復興を支えた友情・友好・市民活動のあゆみ(仮) 内 容:パネル展示 ・支援自治体や民間団体(ボランティア)の紹介など	(一財)自治総合センターの補助金を活用(内示済)
3	親子冬休み木工教室	・森林環境学習の一環として実施する木工教室 ・豊かな森林資源を有する岩手県の特徴を知り、木に親しむことを目的に、簡単な木製玩具を親子で製作する木工教室を開催する。	県民参加の森林づくり促進事業(岩手県)に申請予定。募集時期は、30年2月～3月の見込。
4	その他企画事業	季節行事などをテーマとした事業を通して市民団体等の参画機会を増やし、施設の利用促進を図る。施設内だけでなく、中心市街地エリア全体の賑わい創出につながる催しを企画する。	
合 計			

3 愛称の募集結果について

昨年募集した、施設及び自由通路の愛称は、下記のとおり決定し、報道機関への発表や1月1日号広報みやこで公表しました。

今後は、愛称名の周知と浸透を図るため、積極的に使用していきます。

(経過は下記のとおり)

記者発表資料

平成 29 年 12 月 21 日

宮古市中心市街地拠点施設及び自由通路（避難通路）愛称決定市民総選挙結果について

宮古市中心市街地拠点施設及び自由通路（避難通路）の愛称が決定しましたので、その概要についてお知らせいたします。

記

1 市民総選挙概要

(1) 名 称

「宮古市中心市街地拠点施設及び自由通路（避難通路）愛称決定市民総選挙」

(2) 投票期間

平成 29 年 10 月 15 日から 10 月 31 日まで

(3) 投票総数

4,327 枚（配布数 27,990 枚、回収率 15.46%）

内 訳：世帯 838 枚、小学生 762 枚、中学生 1,233 枚、高校生 1,494 枚

(4) 最優秀作品

○拠点施設 「イーストピアみやこ」1,432 票

- ・作 者 本多美紀（ほんだ みき、11 歳女性）、宮古市蛸の浜町
- ・説 明 宮古は本州で一番東「イースト（east）」にあります。「シートピアなあと」や「フラットピアみやこ」と同じように呼びやすい名前にしました。
- ・補 足 応募作品は「イーストピア」ですが、投票結果を受けて選考委員会から「イーストピアみやこ」と補作提案を受け、内部で検討した結果、選考委員会の答申どおり「みやこ」を追記しました。

○自由通路 「クロスデッキ」1,202 票

- ・作 者 川村 均（かわむら ひとし、70 歳男性）神奈川県横浜市
- ・説 明 毎日、多くの人々が行き交う「クロス」と、通路がゆとりのある「高架（高くかけわたした橋）」をイメージした「デッキ」の造語です。

(5) 優秀作品（記載は 50 音順）

- ・ 拠点施設 「アウベス」（市内 40 代女性）
「アベリアみやこ」（市内 60 代男性）
「かだ〜るプラザ」（市内 30 代男性）
「ミヤココ」（埼玉県川越市 30 代男性） 計 4 名
- ・ 自由通路 「Accha Avenue（アッチャ アベニュー）」（愛知県東海市 10 代男性）
「おでんセロード」（市内 60 代女性、盛岡市 80 代女性、
千葉県千葉市 70 代男性）
「スマイルロード」（市内 10 代男性、同 10 代男性）
「ふれあいプロムナード」（市内 50 代女性） 計 7 名

2 応募作品

(1) 募集期間

平成 29 年 7 月 15 日（土）から 8 月 31 日（木）まで

(2) 応募作品の内訳

- ・ 拠点施設 総数 405 作品（市内 228、県内 36、県外 141）
- ・ 自由通路 総数 426 作品（市内 236、県内 39、県外 151）

(3) 1 次選考

選考委員会委員により、市民総選挙候補として各 5 作品を選考

3 愛称選考委員会概要

(1) 名 称

宮古市中心市街地拠点施設及び自由通路（避難通路）愛称選考委員会

(2) 委員長

内田 信平 岩手県立大学盛岡短期大学部准教授
（宮古市中心市街地拠点施設建設アドバイザー）

(3) 委員数

9 名（委員長含む。委員は、宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会委員から選出）

(4) 委員会

- ・ 第 1 回選考委員会（平成 29 年 6 月 16 日）
委員長及び副委員長の選任、募集要項の審議、スケジュール確認
- ・ 第 2 回選考委員会（平成 29 年 9 月 8 日）
市民総選挙の内容について審議、応募作品の 1 次選考の実施
- ・ 第 3 回選考委員会（平成 29 年 11 月 10 日）
市民総選挙結果報告、最優秀作品、優秀作品の選考、補作の検討

Ⅱ 宮古市庁舎跡地整備基本計画の検討状況について

市民検討委員会や市議会、関係団体との意見交換等を通じて、跡地整備の基本的な考え方、整備計画、今後の設計等に反映すべき諸条件などをまとめた基本計画の案を作成しました。

基本計画の策定に向けて、次のとおり市民説明会、パブリックコメント及び関係団体との意見交換会を開催し、広く意見を伺います。

なお、市民説明会は都市整備部都市計画課にて行う「都市計画マスタープランの見直し（案）」にかかる市民説明会と合同で開催します。

1 市民説明会

(1) 日時及び場所

- ①1月22日（月）午後6時30分 重茂公民館
- ②1月23日（火）午後6時30分 花輪農村文化伝承館
- ③1月24日（水）午後6時30分 津軽石公民館
- ④1月25日（木）午後6時30分 崎山公民館
- ⑤1月26日（金）午後6時30分 市役所6F大ホール
- ⑥1月29日（月）午後6時30分 川井生涯学習センター
- ⑦1月30日（火）午後6時30分 新里福祉センター
- ⑧1月31日（水）午後6時30分 田老公民館

2 パブリックコメント

(1) 募集期間

1月17日（水）～2月5日（月）20日間

(2) 閲覧場所

市役所1階市民ホール、各総合事務所、各出張所、中央公民館、田老公民館
市立図書館、市民文化会館、勤労青少年ホーム、フラットピアみやこ
総合福祉センター、市民総合体育館、新里生涯学習センター、田老診療所
新里診療所

※市のホームページでも閲覧可能

(3) 提出方法

住所、氏名（団体名）、電話番号を記入の上、閲覧場所に備え付けの提言箱に入れるか、郵送、ファクス、電子メールのいずれか

3 関係団体との意見交換会

(1) 開催日程

2月6日（火）～7日（水）

(2) 対象

関係機関、市民活動団体、グループ、など